※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）ベーシック数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・筆記用具、授業用のノート、自習用ノートを必ず用意してください。
・「問題を解く→答え合わせをする→やり直す」ことを実践しましょう。
　ただ問題を解くことに満足せず、やり直しまでやり遂げましょう。
・ノートや授業で使用するプリント、宿題などの提出物は必ず提出するようにしましょう。
・分からないときは先生、周りの生徒に積極的に質問し、最後まで諦めずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

・就職試験で出題される基礎的･基本的な内容を中心とした知識や技能を習得する。
・基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養う。
・数学の知識を、生活の事象に対して活用する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	分数、小数、文字の加減乗除、展開、因数分解、約数と倍数、平方根の計算、種々の方程式・不等式、１次関数、図形の角及び面積、立体の表面積・体積、三角比、場合の数、順列、組合せ、確率百分率、割合、速さの表し方、比例などにおける基本的な概念、原理･法則などを体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	分数、小数、文字の加減乗除、展開、因数分解、約数と倍数、平方根の計算、種々の方程式・不等式、１次関数、図形の角及び面積、立体の表面積・体積、三角比、場合の数、順列、組合せ、確率百分率、割合、速さの表し方、比例などにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	分数、小数、文字の加減乗除、展開、因数分解、約数と倍数、平方根の計算、種々の方程式・不等式、１次関数、図形の角及び面積、立体の表面積・体積、三角比、場合の数、順列、組合せ、確率百分率、割合、速さの表し方、比例などに関心を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	正の数・負の数・因数分解	正の数･負の数が混じった四則計算(展開を含む) 文字･数字でくくる 公式を使った因数分解	a: 正の数･負の数の混じった計算、既習の加減乗除の計算、因数分解をすることができる。 b: 正の数･負の数の混じった計算、既習の加減乗除の計算、因数分解をそれぞれの性質をもとに考え、説明している。 c: 正の数･負の数の混じった計算、既習の加減乗除の計算や因数分解をそれぞれの性質を関連付けて考えようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査	提出物の内容 観察
	平方根・整数	平方根の入った計算 約数と倍数 最大公約数･最小公倍数	a: 平方根の計算、最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 b: 平方根の整数（最大公約数や最小公倍数）について、それぞれの性質をもとに考え、説明している。 c: 平方根や整数（最大公約数や最小公倍数）についてそれぞれの性質を関連付けて考えようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査	提出物の内容 観察
二学期	方程式・不等式	1次方程式 連立方程式 1次不等式 文章問題	a: 各種方程式・不等式の解を求めることや既習の計算をすることができる。 b: 各種方程式・不等式の解の解を求めることや文章問題について、性質をもとに考え、説明している。 c: 各種方程式・不等式の解の解を求めることや文章問題について、性質を関連付けて考えようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査	提出物の内容 観察

※令和４年度以降入学生用

	図形	図形と角 合同･相似な図形 円 図形の面積 三平方の定理 立体の体積･表面積	a:図形の性質やその公式･定理を使って計算することができる。 b:図形の性質やその公式･定理の性質をもとに考え、説明している。 c: 図形の性質やその公式・定理の性質をもとに考え、内容を関連付けて考えようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査	提出物の内容 観察
三学期	場合の数・確率	順列 組合せ 確率の基本	a: 順列･組合せ･確率の基本的な計算をすることができる。 b: 順列･組合せ･確率の計算や既習したものやそれぞれの性質をもとに考え、説明している。 c: 順列･組合せ･確率の計算や既習したものやそれぞれの性質を関連付けて考えようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査	提出物の内容 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度